

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9. 教育費	事業名	99. 市民音楽ホール施設整備費	
項	5. 社会教育費	細事業名		
目	5. 音楽ホール費	担当課・係	市民音楽ホール	(執行課: 市民音楽ホール)

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	25,000	要 求									25,000
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/市民音楽ホールの施設に										
	【市民音楽ホール施設の改修に関する業務】	施策体系コード	03-05-01-10-10			事業番号	10-1						
	市民音楽ホールの施設や設備について、老朽化や故障・破損等を修復するため、施設や設備の改修等を行う。	総事業費	25,936千円			事業期間	平成18年度～平成20年度						
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度								
			936	0	25,000								

(事業実施に関する根拠法令)

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 音楽ホール舞台床は、開館以来23年間3度の補修を重ねながら使用してきたが、床表面の損耗が激しく利用形態により安全上の問題がある。加えて、多くの箇所できしみ音が発生する状況となり、クラシックの演奏会など極めて不都合な状況も発生する為、床の張替えを実施する。	(事業の目的) 利用者の安全確保並びに多くの市民はもとより世界の一流アーティストからも評価の高いコンサートホールとしての機能を維持するため舞台床の張替えを行う。	(事業の効果) 利用者の安全性の向上、利便性の向上と利用満足度の向上。加えて評価の高いコンサートホールとしての機能の維持。このことによる利用率の向上。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 舞台床の張替えにおいては、非常に高い評価を得ているホールの音響効果に可能な限り影響を与えない範囲と工法を選択するとともに市民利用への影響を最小限度に止めるよう工期を可能な限り短期間とするよう計画する。